JAIST Repository
https://dspace.jaist.ac.jp/

Title	七尾から始まる元気物語　「のと・七尾人間塾」
Author(s)	
Citation	JAIST社会イノベーション・シリーズ，6
Issue Date	2008-03
Type	Others
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/4858
Rights	
Description	

Japan Advanced Institute of Science and Technology

七尾市経済再生プロジェクト推進室では、経済再生に向けてこんな取り組みも行っています

■ のと・七尾再生祭り

地元でがんばっている人や、注目のモノ・情報など、地域の資源を広く市民に PR するとともに異業種交流を推進する催しです。平成 19 年度は農林水産業からサービス業まで 44 社がブース出展し、試飲・試食、伝統工芸の実演や各種イベントを実施しました。自分ごととして改革に取り組み、より地域に貢献している人を表彰する「七尾再生元気大賞」の発表も併せて行われました。

■ のと・七尾女性起業塾

家事や育児、介護と両立しながら、自分ひとりでビジネスを始める自己雇用も起業・再就職の選択肢の一つであり、元気な女性を育てることは地域経済の活性化に欠かせないとの視点から、平成 19 年度より開講しています。起業を目指す女性、既に起業している女性を対象にした 2 コースがあります。平成 19 年度は金沢市のチャレンジショップにも出店しました。

■ 今後の展望

のと・七尾人間塾は第五期まで実施し、塾生 100 人の輩出を目標にしています。
これまでの活動を通じて、企業間の交流や連携の可能性を探ろうとする人的ネットワークが形成されつつあります。人間塾の修了生も増えた今、修了生同士が新たな組織的な連携活動を始動すること、また人間力を高めた塾生によって企業内の改革実践がさらに進むことが期待されます。
さらに人間塾では、「人を育てるということは継続が大事。いったん止めてしまってはゼロに戻ってしまう。」（小川さん）との思いから、人間力を人材育成に活かし、将来的には能登全域を対象に人材育成をするということも視野に入れています。

21 世紀 COE プログラム

「知識科学に基づく科学技術の創造と実践」とは？

「21 世紀 COE プログラム」とは、日本に世界最高水準の研究教育拠点（center of excellence）を形成し、研究水準の向上と世界をリードする創造的な人材の育成を図るため、平成 14 年度から文部科学省が実施している事業。「知識科学に基づく科学技術の創造と実践」は、本学で採択された最初の COE プログラムであり、平成 15 年度から始まって今年が 5 年目、すなわち最終年度にあたる。本プログラムでは先端科学技術の研究の場、さらに社会のあらゆる状況において、イノベーションを起こすための知識創造プロセスの研究、そして、それを担う人材としての「知のコーディネータ」「知のクリエータ」育成に取り組んでいる。文理融合を、マテリアルサイエンス研究科（理系）と知識科学研究科（広い意味での文系）の連携プロジェクトという形で実践している点が、本 COE の大きな特色である。

JAIST 社会イノベーション・シリーズ　No.6

発　行　2008 年 3 月

発行所　国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学・科学技術開発戦略センター
〒923-1292　石川県能美市旭台 1-1　知識科学研究科棟Ⅱ7 階

■本誌に関するご意見、お問い合わせ
TEL：0761-51-1839　FAX：0761-51-1767　E-mail：coe-secr@jaist.ac.jp

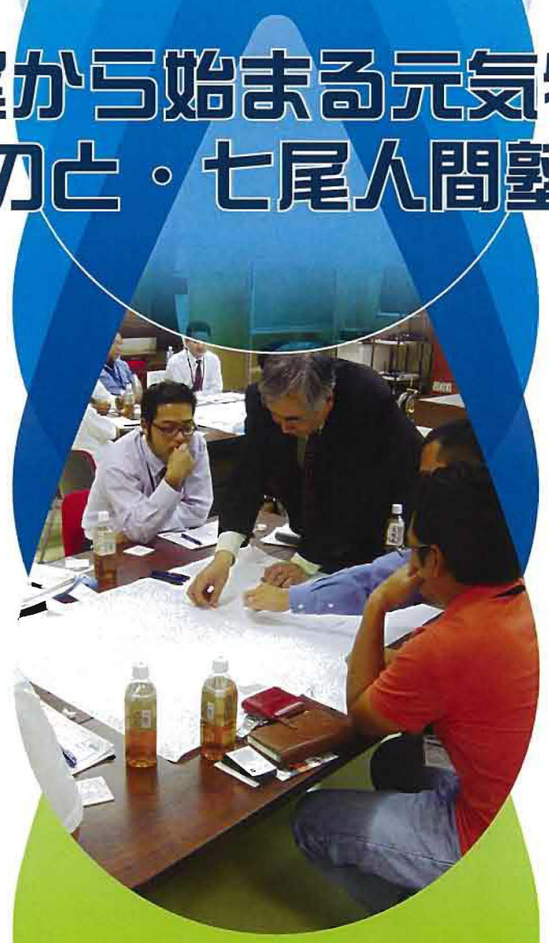
本誌は、文部科学省 21 世紀 COE プログラム「知識科学に基づく科学技術の創造と実践」の助成を得て発行しております。

JAIST
JAPAN ADVANCED INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY 1990
北陸先端科学技術大学院大学

JAIST SOCIAL INNOVATION SERIES

社会イノベーション・シリーズ 6

七尾から始まる元気物語「のと・七尾人間塾」



大企業や都市部へ、金やモノや人が吸い上げられ、ますます地方の体力・競争力が弱くなっている時代。そんな逆境にめげず「人づくり」から地域再生を進めようとがんばっているのが七尾市です。七尾市経済再生プロジェクト推進室では、地域の未来を創り出すリーダーを育成するため、JAIST を含めた産学民官連携による「のと・七尾人間塾」を開講しており、さまざまな分野で働く人々が「四面面思考」の実践を通して人間力を高めることを支援しています。人間塾の塾生はいわば、まちの元気の仕掛け人。塾生が人間力を高めることが、地域の企業がこれまで以上に連携を強めることにつながり、地域再生への活力が生まれます。

No.6

経済再生プロジェクトと「のと・七尾人間塾」 ECONOMIC REVITALIZATION PROJECT

経済再生プロジェクトが始動

七尾市は平成16年10月に七尾・田鶴浜・中島・能登島の1市3町が合併して、新・七尾市としてスタートしました。現状としては少子高齢化、過疎化が大きな問題になっています。地域を支える産業についても、事業所数は年々減少し、そこで働く従業員の数も激減しています。こうした現状を打破しようと、新・七尾市の市長選で経済再生を公約に掲げた武元文平市長のもと、平成17年度より七尾市では経済再生プロジェクトがスタートしました。4月に「経済再生プロジェクト推進室」が置かれ「経済再生戦略会議」(4回)がスタート。ここにJAIST知識科学研究科の近藤教授がコーディネータとして参加し、人口減、過疎化、中心市街地の衰退など七尾市の現状の姿や、何をしなければならないかを具体的に討議し、市独自の「七尾市経済再生戦略プラン」を策定しました。また経済再生戦略会議では、経済再生の最大の課題は、能登の未来を担う人づくり、地域産業の活力作りにあると考え、地域の未来を創り出すリーダーを育成することを目的に、平成17年6月より産学民官連携の「のと・七尾人間塾」を立ち上げました。

七尾の未来づくりを目指して集合

産業人材を育成する人間塾

人間塾には毎年、農業や水産業・商業・観光業・サービス業等の従事者、または経営者などさまざまな立場の市民が参加し、近藤教授指導のもと「四画面思考法」による改革実践研究を実施します。これは「現状の姿(事実把握)」から、「ありたい姿(夢や理想)」を描き、次に「なりたい姿(目標戦略)」を明示し、そのための「実践する姿」を描き出す思考法で、その過程を通して、塾生の思考力や想像力を引き出して伸ばすとともに、実践に結びつけていくことを目標としています。

具体的には先進地視察や中間ゼミを含め全8回のカリキュラムが組まれています。通常の講義では前半に地域リーダーの講演が行われ、後半に各々が抱える課題を話し合い、目標を立て、戦略を考え、具体的に実践する姿を描いていくグループ討議を実施します。講演とグループ討議を通して、塾生がそれぞれの"気づき"を語り合うことで、新たな"気づき"を得ることができます。またグループ討議ではそれぞれが四画面に加えて改革実践提案書の作成を進め、最後のプレゼンテーションで発表します。

なお経済再生プロジェクト推進室では円滑に全講義を受講してもらえるよう、欠席者のフォローアップも行っています。行政がこうした「人づくり」に取り組む例は全国でも例がなく、のと・七尾人間塾の活動は県内外から広く注目を集めています。

人間塾では平成17年度(一期生)は22社27人、18年度(二期生)は21社25人、19年度(三期生)は17社25人の修了生が誕生しました。人間塾は回を重ねるごとに市民の間に浸透し、積極的に参加する企業、事業所も増えました。参加した塾生が企業に「四画面思考法」を持ち帰るなど、個のモチベーションが企業全体のモチベーションにつながりつつあります。

塾生自身の課題を考える

グループ討議

プレゼンテーション

表　のと・七尾人間塾カリキュラム(第三期:平成19年8月23日〜平成19年12月19日のもの)

	日時	一部(基調講演)	二部(改革実践研究)
第1講	8月23日(木) 19:00〜22:00	●オリエンテーション ●特別講演 「人間力と技術力の二刀流でのと・七尾を元気にする」近藤修司/JAIST教授 ●自己紹介・班編成	
第2講	9月13日(木) 19:00〜22:00	●「物づくり産業と技術力」 佐々木暢盈/(株)サン・アロイ代表取締役会長	●改革事例紹介　砂崎友宏/(株)朝日電機製作所(いしかわMOTシンジケート幹事) ●交流
第3講	10月4日(木) 19:00〜22:00	●「ピンチはチャンス」 山口成俊/山成商事㈱代表取締役社長	●各グループで気づきの見える化 ●各自テーマ設定 ●SWOT分析
第4講	10月25日(木) 19:00〜22:00	●「能登・七尾の活性化」 小田禎彦/(株)加賀屋代表取締役会長	●改革実践提案書の作り方 ●各グループで気づきの見える化
先進地視察	11月2日(金) 9:00〜17:00	●(株)PFU ●医療法人社団和楽人　芳珠記念病院	
第5講	11月15日(木) 19:00〜22:00	●「地域経済における企業の役割」 大林重治/のと共栄信用金庫理事長	●各グループで気づきの見える化 ●個別相談
中間ゼミ	11月25日(日) 9:00〜17:00	●個人ワークと個別指導 ●プレゼンテーション能力の向上	
第6講 修了式	12月9日(日) 13:00〜18:00	プレゼンテーション 受講証書授与	

受講生による四画面の展示

オフィス用の小さな四画面

人材と地域資源を活用する

七尾市では企業誘致プロジェクトが始動し、企業誘致にも全力で取り組んでいますが、すぐに結果に結びつくほど甘くはありません。そのため七尾市としては今ある資源や既存の産業、たとえば温泉や食、充実した医療・福祉施設などを活用して、内発的な活性化をねらっていくことを重視しています。和倉温泉と医療・福祉施設の連携によるヘルスケアをテーマとした滞在型観光や、地場の野菜や海の幸のブランド化などの検討・実践も進められています。人間塾はその原動力となると期待されています。

また、経済再生に向けては、企業や民間人だけでなく、市職員も意識改革を図り、人間力を高めなければならないとの意識も高まっています。これまでの行政には地域を経営として考える視点や、これに中心になって取り組む人材が欠けていました。しかし人間塾の始動に伴い、塾に率先して参加する市職員も増え、また市役所内に「自治体経営を考える会」が発足するなど、七尾市は大きく変わりつつあります。

お話をお聞きした方　・小川 幸彦さん(七尾市産業部産業政策課課長　経済再生プロジェクト推進室長)
・瀧音 悠さん(同推進室　主幹)　・倉田 克典さん(同推進室　主事)